

平成31年度 当初予算のポイント



目 次

● 31年度予算編成のフレーム	1
● 一般会計当初予算の特色	2
● 一般会計当初予算の概況	
・歳入	3
・歳出（目的別・性質別）	4
● 資料編	6
● 基本政策	8

● 31年度予算編成のフレーム

「“選ばれる都市” 創造元年」
新たな時代にふさわしい魅力あふれる都市を築く積極予算

新時代（NEW AGE）を切り拓く 3つの視点

Activity

「まち」
の活気を高めます

Energy

「しごと」
の勢いにつなげます

Growth

「ひと」
の成長を支えます

本市を愛し、思いを寄せる主体の情熱を共有・結集

人・まち・みどり みんなで創る “豊かさ” 実感都市・かごしま

平成31年度当初予算

（単位：千円，％）

会 計	平成31年度（A）		平成30年度（B）		比較（A－B）	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	267,033,000	57.9	250,986,000	57.2	16,047,000	6.4
特殊要素	31年度前倒し分	1,299,968	-	-	1,299,968	-
	30年度前倒し分	-	1,455,474	-	△ 1,455,474	-
※ 特殊要素を考慮した場合の一般会計	268,332,968	-	252,441,474	-	15,891,494	6.3
特 別 会 計	127,185,000	27.6	124,031,000	28.2	3,154,000	2.5
企 業 会 計	66,863,000	14.5	63,963,000	14.6	2,900,000	4.5
合 計	461,081,000	100.0	438,980,000	100.0	22,101,000	5.0

●一般会計当初予算の特色

I 予算規模

☆過去最高

一般会計予算規模 2,670億円(+160億円)

前倒し分を含めた実質的な予算規模 2,683億円(+159億円)

II 歳入の主なもの

○ 市 税	885億円	(+18億円 + 2.0%)
○ 地方消費税交付金	114億円	(+ 1億円 + 1.0%)
○ 地方交付税	295億円	(+15億円 + 5.4%)
実質的な地方交付税(地方交付税+臨時財政対策債)	380億円	(+ 11億円 + 3.0%)
○ 国庫支出金	606億円	(+64億円 +11.8%)
○ 市 債	289億円	(+16億円 + 5.9%)
うち臨時財政対策債	85億円	(△ 4億円 △ 4.5%)

III 歳出の主なもの

○ 基本政策ごとの予算額と主な事業

- 1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち 37億円
 - ・桜島・錦江湾ジオパーク推進事業
 - ・鹿児島市版DMO推進補助金
- 2 健やかに暮らせる安全で安心なまち 1,333億円
 - ・安全な保育環境充実事業
 - ・火山防災トップシティ関連事業
- 3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち 112億円
 - ・家庭ごみの高齢者等戸別収集サービス事業
 - ・加治屋まちなかの杜公園(仮称)整備事業
- 4 地域産業で若者や女性が活躍できるまち 30億円
 - ・企業立地推進事業
 - ・カゴシマクリエイティブライブ2019@シブヤ(仮称)開催事業
- 5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち 175億円
 - ・次世代を切り拓く青少年育成事業
 - ・国民体育大会等準備事業、国体関連スポーツ施設等整備事業
- 6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち 227億円
 - ・千日町1・4番街区市街地再開発事業、まちなか図書館(仮称)整備事業
 - ・鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業
- 7 市民と行政が拓く協働と連携のまち 55億円
 - ・町内会加入促進モデル事業
 - ・シティプロモーション戦略ビジョン関連事業

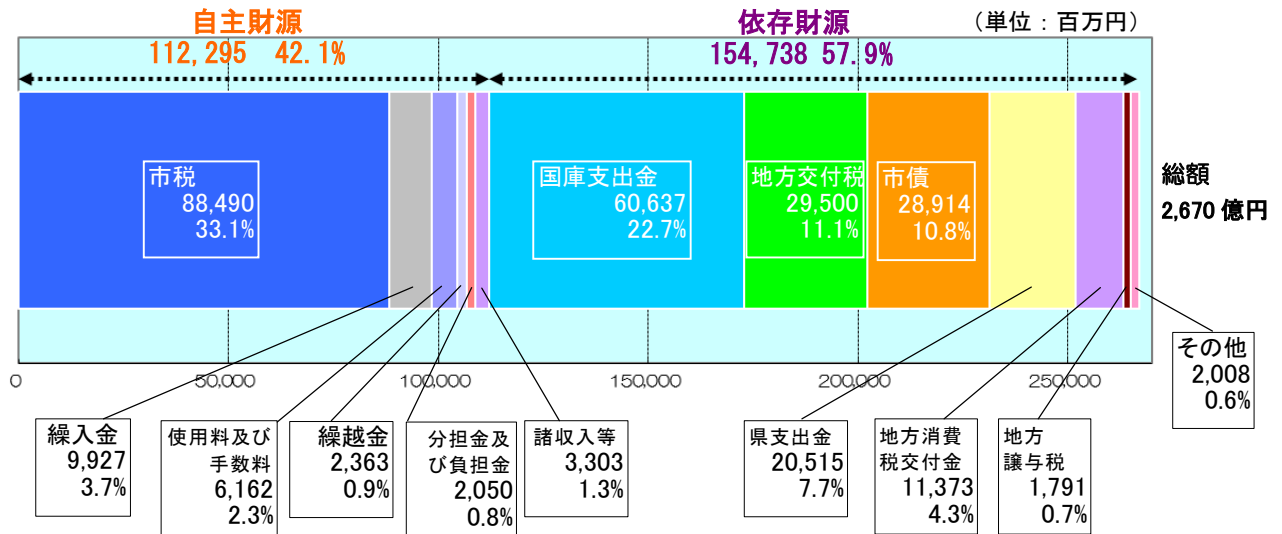
IV 基金と市債の状況

※市債は、臨時財政対策債を除いた額

☆引き続き健全財政を維持

○ 基金残高	31年度末見込み	248億円(△34億円)
○ 市債残高	31年度末見込み	1,708億円(△17億円)
○ プライマリーバランス		0.4億円の黒字

●一般会計当初予算の概況（歳入）



一般会計歳入予算款別前年度比較表

（単位：百万円，％）

区分	款	平成31年度(A)		平成30年度(B)		比較(A-B)	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	市税	88,490	33.1	86,732	34.6	1,758	2.0
	分担金及び負担金	2,050	0.8	2,696	1.1	△646	△24.0
	使用料及び手数料	6,162	2.3	6,239	2.5	△77	△1.2
	財産収入	290	0.1	234	0.1	56	23.7
	寄附金	456	0.2	332	0.1	124	37.7
	繰入金	9,927	3.7	8,860	3.5	1,067	12.0
	繰越金	2,363	0.9	2,031	0.8	332	16.3
	諸収入	2,557	1.0	2,277	0.9	280	12.3
	小計	112,295	42.1	109,401	43.6	2,894	2.6
依存財源	地方譲与税	1,791	0.7	1,692	0.7	99	5.9
	地方消費税交付金	11,373	4.3	11,265	4.5	108	1.0
	地方交付税	29,500	11.1	28,000	11.1	1,500	5.4
	国庫支出金	60,637	22.7	54,235	21.6	6,402	11.8
	県支出金	20,515	7.7	17,773	7.1	2,742	15.4
	市債	28,914	10.8	27,292	10.9	1,622	5.9
	その他	2,008	0.6	1,328	0.5	680	51.2
	小計	154,738	57.9	141,585	56.4	13,153	9.3
合計		267,033	100.0	250,986	100.0	16,047	6.4

増減の主なもの

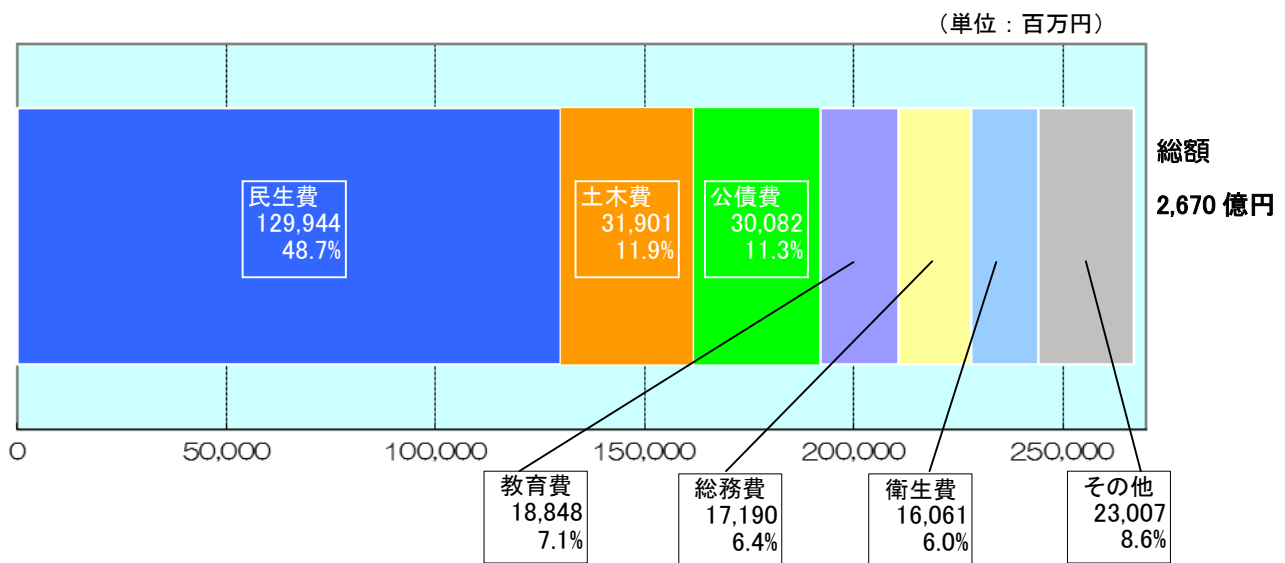
（自主財源）

市税 ・ 個人市民税（+8.8 億円）・固定資産税（+6.8 億円）・都市計画税（+1.3 億円）
 分担金及び負担金 ・ 保育料（△6.4 億円）
 繰入金 ・ 市債管理基金繰入金（+6.8 億円）・財政調整基金繰入金（+5.0 億円）
 繰越金 ・ 30年度からの繰越金（+3.3 億円）

（依存財源）

地方交付税 ・ 普通交付税（+15.0 億円）
 国庫支出金 ・ 児童福祉費（施設型給付費等）（+28.5 億円）
 ・ 社会福祉費（プレミアム付商品券事業費等）（+10.9 億円）
 県支出金 ・ 児童福祉費（施設型給付費等）（+10.8 億円）
 市債 ・ 都市計画事業債（+8.7 億円）・介護老人福祉施設等整備事業債（+8.4 億円）
 地方特例交付金 ・ 子ども・子育て支援臨時交付金（+7.5 億円）

●一般会計当初予算の概況（歳出・目的別）



一般会計歳出予算（目的別）前年度比較表

(単位：百万円、%)

款	平成31年度(A)		平成30年度(B)		比較(A-B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,115	0.4	1,122	0.4	△7	△0.6
総務費	17,190	6.4	15,510	6.2	1,680	10.8
民生費	129,944 (129,971)	48.7	120,915	48.2	9,029 (9,056)	7.5 (7.5)
衛生費	16,061	6.0	14,421	5.7	1,640	11.4
農林水産業費	2,481 (2,489)	0.9	2,293	0.9	188 (196)	8.2 (8.5)
商工費	9,517	3.6	7,043	2.8	2,474	35.1
土木費	31,901 (31,959)	11.9	29,017 (29,388)	11.6	2,884 (2,571)	9.9 (8.7)
消防費	5,754	2.2	5,741	2.3	13	0.2
教育費	18,848 (20,055)	7.1	19,259 (20,328)	7.7	△411 (△273)	△2.1 (△1.3)
災害復旧費	1,354	0.5	1,369	0.6	△15	△1.1
公債費	30,082	11.3	31,423	12.5	△1,341	△4.3
諸支出金	2,686	1.0	2,773 (2,788)	1.1	△87 (△102)	△3.1 (△3.7)
予備費	100	0.0	100	0.0	0	0.0
合計	267,033 (268,333)	100.0	250,986 (252,441)	100.0	16,047 (15,892)	6.4 (6.3)

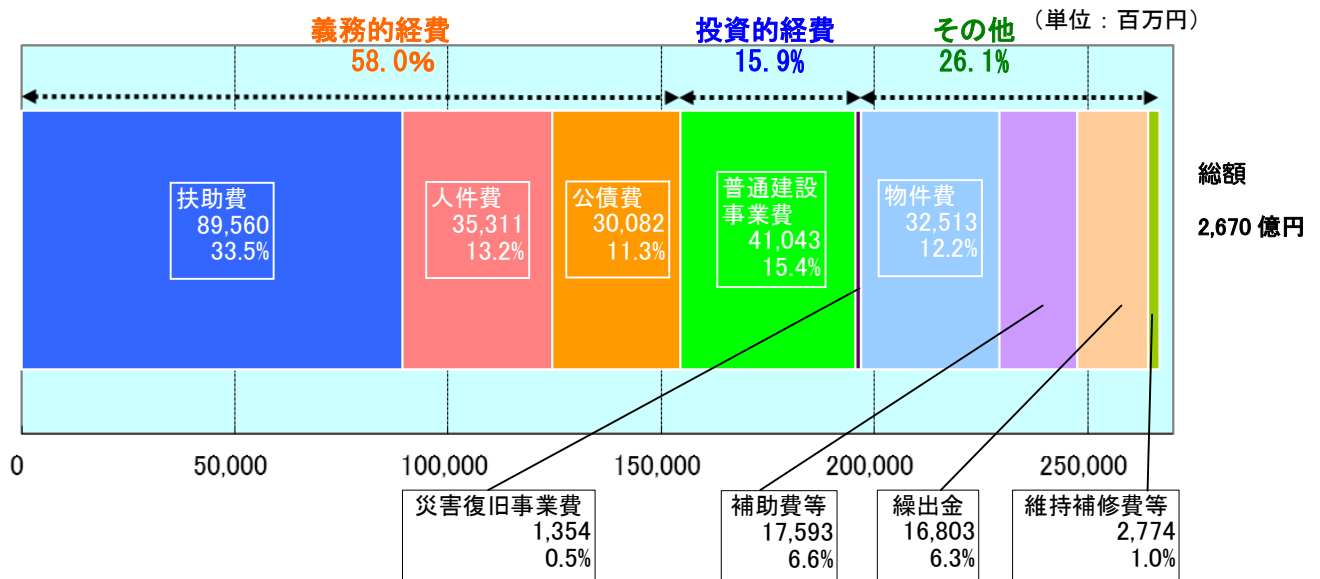
※()内は前倒し分を含む

増減の主なもの

総務費	・光ブロードバンド整備促進事業 (+10.7 億円)	・システム運用経費(機器更新等) (+2.6 億円)
民生費	・施設型給付費 (+15.8 億円)	・プレミアム付商品券事業 (+10.9 億円)
	・児童福祉施設整備等補助事業 (+7.8 億円)	・生活保護法による扶助費 (△2.7 億円)
衛生費	・新南部清掃工場 (ごみ焼却施設・バイオガス施設) 整備・運営事業 (+10.0 億円)	
	・北部清掃工場施設整備事業 (+1.9 億円)	
農林水産業費	・降灰地域防災営農対策事業 (農産) (+1.0 億円)	
商工費	・国民体育大会等準備事業 (+6.7 億円)	・職員費(国体対応職員の増) (+2.0 億円)
土木費	・谷山第三地区土地区画整理事業 (+13.7 億円)	・中央町19・20番街区市街地再開発事業 (+13.3 億円)
	・千日町1・4番街区市街地再開発事業 (+5.3 億円)	・鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業 (△6.6 億円)
教育費	・校舎・屋体等整備事業 (中学校) (+5.9 億円)	・小学校施設安全対策事業 (+2.5 億円)
公債費	・借換債 (△21.4 億円)	

※組織改編による移管(衛生費から商工費へ 3.3 億円、教育費から商工費へ 17.2 億円)

●一般会計当初予算の概況（歳出・性質別）



一般会計歳出予算（性質別）前年度比較表

（単位：百万円，%）

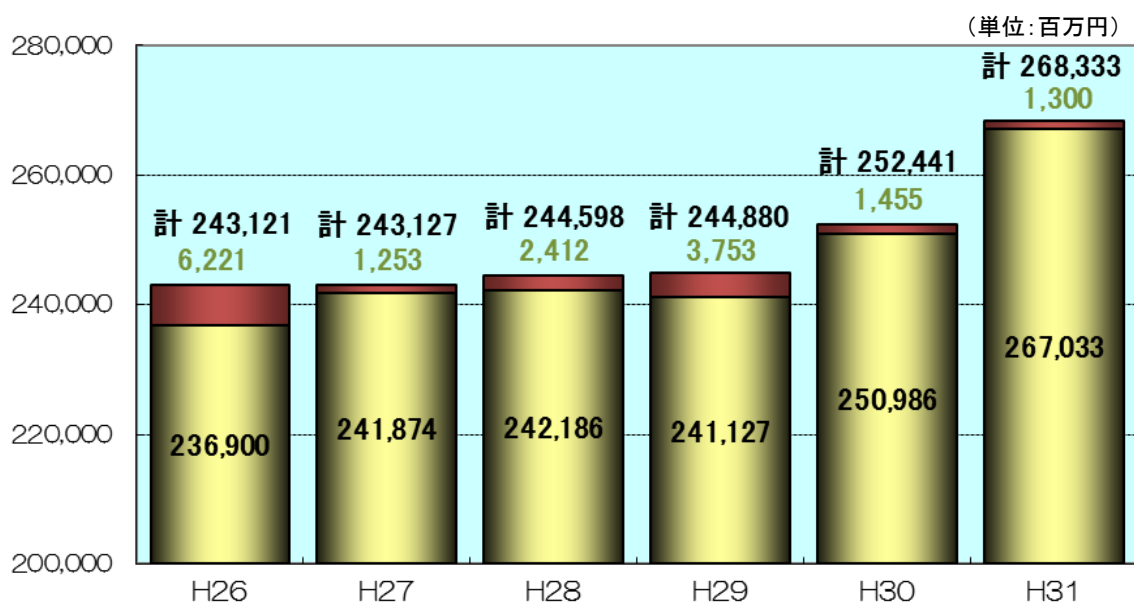
区分	性質別	平成31年度(A)		平成30年度(B)		比較(A-B)	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人件費	35,311 (35,312)	13.2	34,981	13.9	330 (331)	0.9 (0.9)
	扶助費	89,560	33.5	85,546	34.1	4,014	4.7
	公債費	30,082	11.3	31,423	12.5	△1,341	△4.3
	小計	154,953	58.0	151,950	60.5	3,003	2.0
投資的経費	普通建設事業費	41,043 (42,295)	15.4	32,663 (34,083)	13.0	8,380 (8,212)	25.7 (24.1)
	補助	20,961 (22,213)	7.9	16,398 (17,779)	6.5	4,563 (4,434)	27.8 (24.9)
	単独	20,082	7.5	16,265 (16,304)	6.5	3,817 (3,778)	23.5 (23.2)
	災害復旧事業費	1,354	0.5	1,369	0.6	△15	△1.1
	補助	1,181	0.4	1,196	0.5	△15	△1.3
	単独	173	0.1	173	0.1	0	0.0
	小計	42,397	15.9	34,032	13.6	8,365	24.6
	物件費	32,513 (32,539)	12.2	29,578	11.8	2,935 (2,961)	9.9 (10.0)
その他	維持補修費	2,282	0.9	2,556	1.0	△274	△10.7
	補助費等	17,593 (17,614)	6.6	16,309 (16,344)	6.5	1,284 (1,270)	7.9 (7.8)
	積立金	19	0.0	22	0.0	△3	△14.0
	投資及び出資金	360	0.1	485	0.2	△125	△25.7
	貸付金	13	0.0	13	0.0	0	0.0
	繰出金	16,803	6.3	15,941	6.4	862	5.4
	予備費	100	0.0	100	0.0	0	0.0
	小計	69,683	26.1	65,004	25.9	4,679	7.2
合計		267,033 (268,333)	100.0	250,986 (252,441)	100.0	16,047 (15,892)	6.4 (6.3)

※()内は前倒し分を含む

増減の主なもの

- | | | |
|---------|----------------------------|---------------------------------|
| 人件費 | ・職員費(国体対応職員の増など) (+1.7 億円) | ・児童扶養手当 (+7.1 億円) |
| 扶助費 | ・施設型給付費 (+15.8 億円) | |
| 公債費 | ・借換債 (△21.4 億円) | |
| 普通建設事業費 | ・谷山第三地区土地区画整理事業 (+13.7 億円) | ・中央町19・20番街区市街地再開発事業 (+13.3 億円) |
| 物件費 | ・プレミアム付商品券事業 (+10.7 億円) | ・市営住宅管理運営事業 (+5.1 億円) |
| 補助費等 | ・国民体育大会等準備事業 (+6.7 億円) | ・療養給付費負担金 (+2.3 億円) |
| 繰出金 | ・介護保険特別会計繰出金 (+5.2 億円) | ・保険基盤安定制度繰出金 (+2.6 億円) |

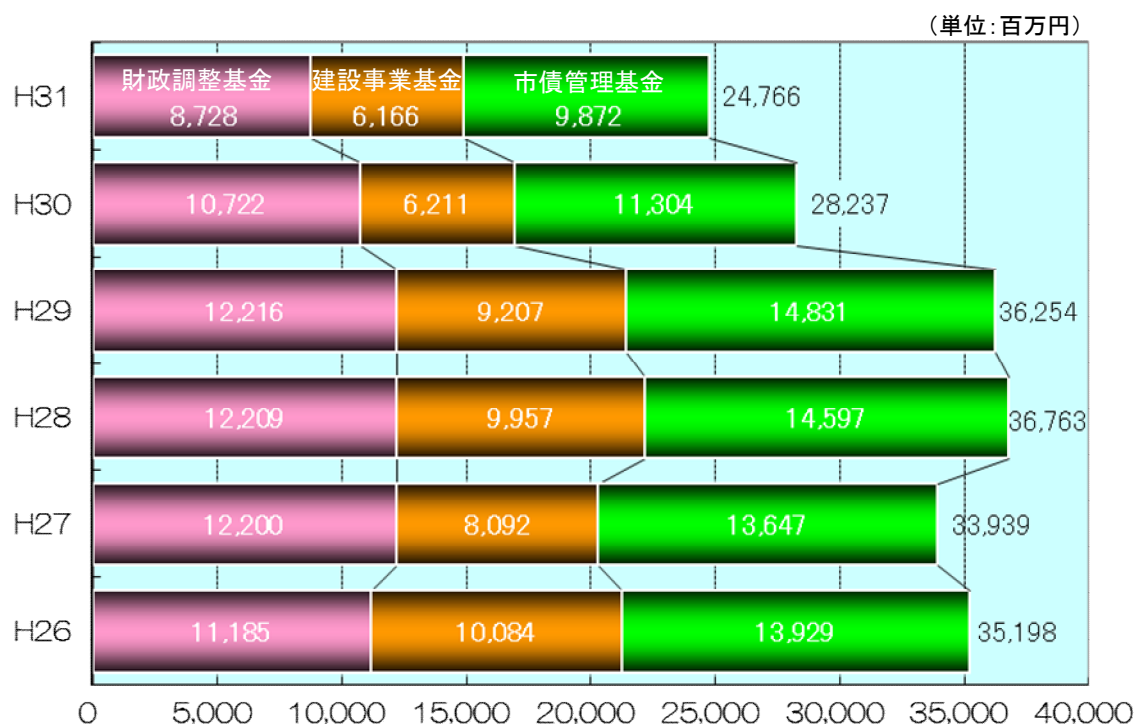
1 一般会計予算規模の推移



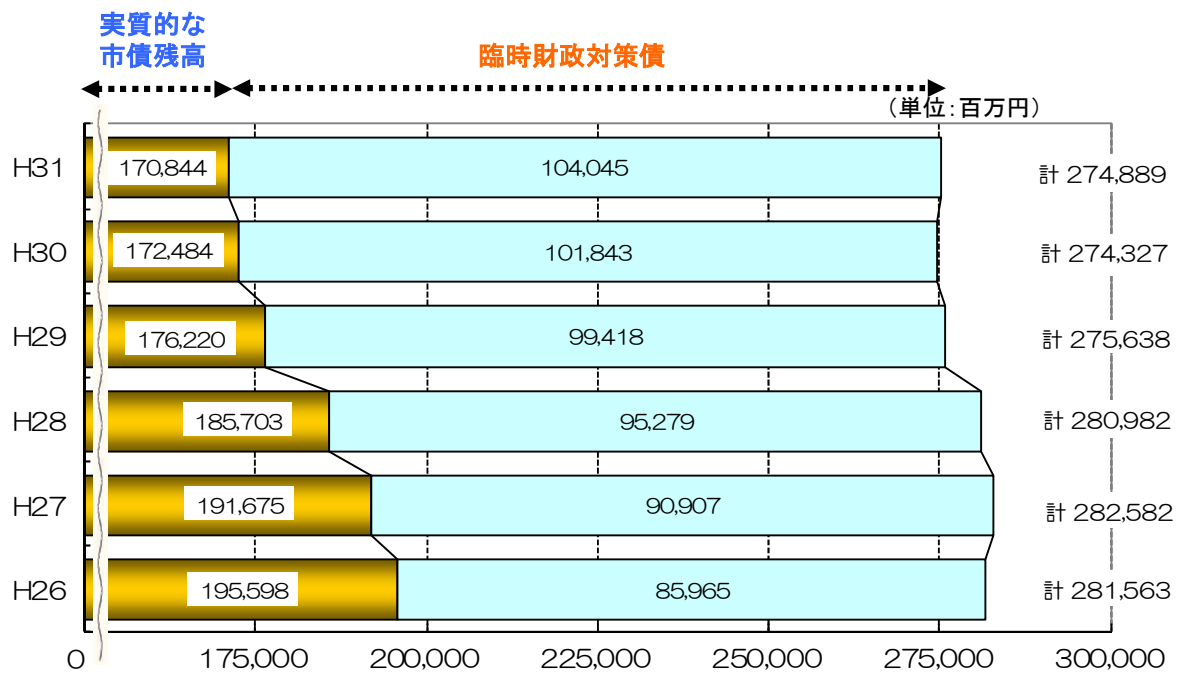
※上部分は前年度への前倒し分

2 基金残高の推移

- (1) グラフの左部分は財政調整基金、中央部分は建設事業基金、右部分は市債管理基金の残高。
 (2) 29年度までは決算額、30年度及び31年度は当初予算時の見込額。

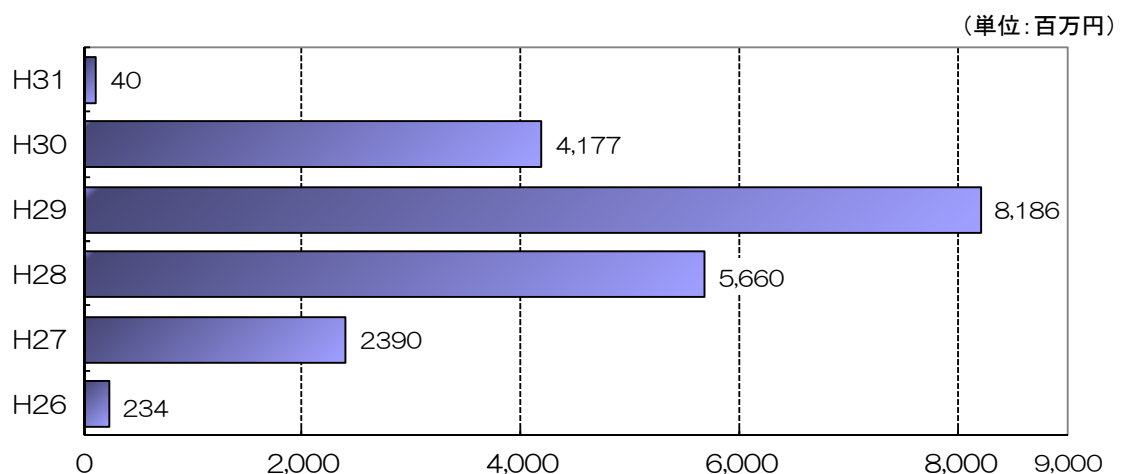


3 市債残高の推移



- (1) グラフの左部分は、臨時財政対策債を除いた実質的な市債残高。
- (2) グラフの右部分は、実質的な地方交付税である臨時財政対策債。
- (3) 28年度までは同意ベースの決算額、29年度は決算見込額、30、31年度は当初予算時の見込額。

4 プライマリーバランス（基礎的財政収支）の推移



- (1) プライマリーバランスとは、市債を除いた歳入と元金を除いた歳出を比較したもの。
- (2) 各年度の当初予算時のプライマリーバランスは黒字を維持している。
(実質的な地方交付税である臨時財政対策債を除いたもの。)

●基本政策

1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

- 1.豊かな地域資源を生かした鹿児島オリジナルの魅力の向上
- 2.スポーツで人が行き交い、盛り上がるまちづくり
- 3.観光客の受入体制や国内外との交流体制の強化

2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

- 1.安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり
- 2.高齢者が元気に生き生きと暮らせるまちづくり
- 3.障害のある方へのきめ細かな福祉の充実
- 4.安全・安心に暮らせる、災害に強い強靱なまちづくり
- 5.健康づくりや保健予防の取組の充実

3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

- 1.再生可能エネルギーや省エネルギー技術の利用・導入促進
- 2.環境にやさしいまちづくり
- 3.花と緑が彩る、うるおいのあるまちづくり

4 地域産業で若者や女性が活躍できるまち

- 1.若者や女性が安心して働き、活躍できる雇用の場づくり
- 2.雇用を生み出す地域産業の魅力・競争力の強化
- 3.豊かな自然を守り、育む農林水産業の活性化

5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

- 1.生きる力を育み、学びを支援する教育環境の充実
- 2.市民文化・スポーツの振興
- 3.男女共同参画社会の推進

6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

- 1.市街地や地域拠点の新たな魅力づくり
- 2.快適便利な住環境・交通環境づくり

7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

- 1.協働と連携によるまちづくり
- 2.時代に合った行政運営と、将来を見据えた健全な財政運営